

世帯と人口

(平成5年1月1日)
世帯 37,612 (+125)
人口 109,940人 (+205)
男 56,805人 女 53,135人

広報えびな

編集・発行
海老名市役所広報広聴課
〒243-04
神奈川県海老名市勝瀬175
☎ (0462) 31・2111



輝き増す星々…いまが一番

冬は、一年中で一番空気が澄んでいて、星が最もきれいに見える季節です。みなさんも、ちよつと外に出て夜空を見あげてみてはいかがですか。きつとたくさん星座があなたに語りかけてくれることでしょう。

高橋さん(中央)の長年の夢がかなって屋上に設置した口径40cmの天体望遠鏡

星座を探そう

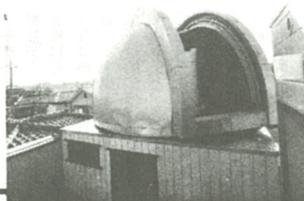
南の夜空を見上げると、どの星よりも明るく輝く青白い星(おおいぬ座のシリウス)・オレンジ色の星(オリオン座のベテルギウス)・白い星(こいぬ座のプロキオン)の三つの星が目に入りま



この三つの星を結んでできる大きな三角形を「冬の星座を観察するときの目印」になります。

【オリオン座】オリオンは、ギリシャ神話に

でてくる巨人の狩人です。左手にししの毛皮の盾を背負い、右手に弓をもち、



屋上で観望がしたい

自宅の屋上に天文台を設置した高橋典嗣さん(東柏ヶ谷、34歳)は、「今後は、天文台を活用して天体に興味を持っている子供たちに、天体現象の偉大さなどを知って欲しいですね」と話しています。

りで見つけた宝物のように感激しました」以来、もっと大きな望遠鏡で見られるような発見ができるのではないかと、中学生のころから、家に天文台を作るため、よくノートに将来の家の設計図を書きました。その夢は去年の暮れに実現。家族からは「趣味と思っていたのに、まさか屋上に天文台を作ってしまうとは!」と…。

外人講師を招いて

人権問題講演会 2/18

福祉講演会 3/6

アメリカ人のボランティア精神

●ケント・ギルバート氏



社会の高齢化が進むなかで、お年寄りも若い人も、体に障害を持つ人、持たない人も市民一人ひとりが健全で幸福な生活を送るために、私たちがどんな心構えが必要でしょうか。市と市社会福祉協議会では「第一回

私の見た日本の人権感覚

●イーデス・ハンソン氏



「差別をしない、差別を許さない」と人権問題の正しい理解と認識を深め、市民の権利と自由が完全に保障される明るい社会の実現をめざして、市と市教育委員会が主催する「平成四年度人権問題講演会」が二月十

食の国際化を考える

弁護士・神山美智子氏が講演

市では「地域消費者のつどい」を次のとおり開催します。講師にはケント・ギルバート氏を招き、アメリカ人のボランティア精神についてお話しいただきます。

市内施設めぐり

団体単位で申し込みを

市では、市民のみならず、市外に、団体単位で市内施設めぐりを実施しています。これは、市のありのままの姿を知っていただき、市政に対する理解と協力をいただくため企画された制度です。

第2東名高速自動車道 2月15日(月)国・県の説明会

先に建設省から「第2東名高速自動車道」のルートが公表されましたが、この道路の計画概要について、同省と県が事業としての説明会を次のとおり開催します。

子育て家庭に住宅手当を支給

借家・借間住まいの母子父子家庭の方で、次の条件に該当する方に、住宅手当を支給します。



モニター募集します

<市政>

募集人員 市内在住の20歳以上の方(公務員など公職にある方、市政モニター経験者は除く)20人>期間 平成5年4月~6年3月>仕事 市政に対する意見・提案の提出、モニター会議への出席など>謝礼 年額1万3千円程度>申し込み 3月12日までに電話かハガキで広報広聴課(内271)へ。ハガキには住所・氏名・年齢・職業・応募の動機を記入。

<広報>

募集人員 市内在住の20歳以上の方(公務員など公職にある方、広報モニター経験者は除く)10人>期間 平成5年4月~6年3月>仕事 「広報えびな」など市が発行する広報、刊行物への批評、投稿、モニター会議への出席など>謝礼 年額1万3千円程度>申し込み 3月12日までに電話かハガキで広報広聴課(内272)へ。ハガキには住所・氏名・年齢・職業・電話番号・応募の動機を記入。

<消費生活>

消費者の意見や情報を広く収集し、消費生活行政に市民の意見を反映させるため、平成5年度の市消費生活モニターを募集します。

市税や国民年金の支払い 安全、便利な口座振替で

市では、市民の支払いに安全で便利な口座振替をお勧めしています。現在、口座振替を利用されていない方を対象に、

2月15日(月)市役所で

お子さんと一緒に

市内認可保育園(9園)の、平成五年四月からの入所申し込みを、次のとおり受け付けます。

住宅統計調査に

ご協力ください

今年統計調査の基礎資料とする単位区設定のための調査が、二月十日に行われます。

子育て家庭に

住宅手当を支給

借家・借間住まいの母子父子家庭の方で、次の条件に該当する方に、住宅手当を支給します。

子育て家庭に

住宅手当を支給

借家・借間住まいの母子父子家庭の方で、次の条件に該当する方に、住宅手当を支給します。

市長随想

冬の夜を演出する「毎冬名ウインターイルミネーション」もすっかり定番になりました。また、昨年同様には相模園分寺「七重の塔」のモニョメントが、関係者のお骨折りにより完成し、その荘厳な佇まいを堪能することができます。

温故知新

は種族のある方です。これに比べて、は種族のない方です。先人たちが残してきた歴史、文化を大切に、社会の発展に貢献したい。温故知新の言葉を大切にしたいのです。



平成5年度の認可保育園申し込み

市内認可保育園(9園)の、平成五年四月からの入所申し込みを、次のとおり受け付けます。

あすを考える市民のつどい

「あすを考える市民のつどい」が二月二十日(土)厚木市文化会館で開催されます。今回は県内各地域で開かれてきた討論交流集の締めくくりとして開催されるもので、テーマは「地球の環境を守るための心」。

春季労働講座

厚木労働センターの春季労働講座が次の日程で開催されます。受講無料、定員は六十八名です。申し込みは同センター。

子育て家庭に

住宅手当を支給

借家・借間住まいの母子父子家庭の方で、次の条件に該当する方に、住宅手当を支給します。

子育て家庭に

住宅手当を支給

借家・借間住まいの母子父子家庭の方で、次の条件に該当する方に、住宅手当を支給します。

このコーナーに掲載を希望される方は、原稿を作成して... 広報広聴課(内272)へ。スペースの都合で掲載できない場合もあります。

子育て家庭に

住宅手当を支給

借家・借間住まいの母子父子家庭の方で、次の条件に該当する方に、住宅手当を支給します。

市役所は一部の業務を除き、すべての土曜日をお休みしています。お問い合わせは行政管理局(内27)へ。

子育て家庭に住宅手当を支給... 借家・借間住まいの母子父子家庭の方で、次の条件に該当する方に、住宅手当を支給します。

子育て家庭に

住宅手当を支給

借家・借間住まいの母子父子家庭の方で、次の条件に該当する方に、住宅手当を支給します。

子育て家庭に

住宅手当を支給

借家・借間住まいの母子父子家庭の方で、次の条件に該当する方に、住宅手当を支給します。

子育て家庭に

住宅手当を支給

借家・借間住まいの母子父子家庭の方で、次の条件に該当する方に、住宅手当を支給します。

子育て家庭に住宅手当を支給... 借家・借間住まいの母子父子家庭の方で、次の条件に該当する方に、住宅手当を支給します。

子育て家庭に

住宅手当を支給

借家・借間住まいの母子父子家庭の方で、次の条件に該当する方に、住宅手当を支給します。

フォトピックス

親子96組が参加

新春恒例の「親子ジャンボかるた大会」が一月九日、杉本小学校グラウンドで開かれ、市内



親子96組が参加

20歳の旅立ち

市文化会館で成人式
一月十五日、市文化会館で成

人式が行われ、新成人千四百五十六人が参加した。アトラクションとして、相州海老名東柏太鼓の演技に続き、来賓の祝辞や記念品の贈呈などが行われた後、新成人を代表して柏木大吾さん、小野蘭子さんが二十歳の抱負を述べ、三本締めを終了した。



市庁舎で弦楽4重奏の演奏が...

の親子九十四組、百八十八人が参加した。この大会は、親子が手をつなぎ、グラウンドいっぱいには配られたジャンボかるたを取り合うもので、かるたを楽しみながら郷土の歴史や文化財を学ぶとともに、親子のふれあいを深めることを目的としている。今年で十六回目。

左藤市長などが札を読みあげると、参加者はグラウンドいっぱいには配られた絵札に向かって突進、中には別の絵札を取る親子もいて、会場は終始、笑い声と歓声に包まれた。



久しぶりの再会に会話も弾む

優雅な昼を満喫

市庁舎でミニコンサート

一月十三日、市庁舎一階ロビーで「TOKYO YSC CLUB」トキョウ・ユィス・クルー・佐々木雄一代表20人のメンバーによる弦楽四重奏の「ミニコンサート」が行われた。同クラブは、四年前に結成されたもので、クラシックはもとより、ジャズやポップスなど幅広いジャンルの音楽を各地で演奏している。クラブのメンバーに海老名出身者がいて、市役所を訪れる人に私たちの音楽を楽しんでもらえれば」と今回実現の間に、七曲の演奏が行われたが、ロビーには来庁者など約百人が足を止め、優雅な昼のひとときを楽しんだ。

消防演技を披露

市役所西側広場で出初式

一月十四日、市役所西側雑居事広場で消防出初式が行われ、市消防署、市内全消防団、事業所などで編成された自衛消防隊などが参加した。

会場では消防団の分列行進に引き続き、消防団員の永年勤続表彰、人命救助や初期消火活動を行った一般市民への感謝状の贈呈が行われた。

消防演技では、(株)ダイエー海老名店女子自衛消防隊の屋内消火栓操法や(株)パブコ相模工場自衛消防隊、第十一分団(上河内・杉久保)の消火操法が披露された。最後に市消防署の演技が行われ、小雨の降る中出場した約三百人の市

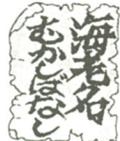


第10分団による消防演技

海老名おかしおかし

電話で海老名の昔ばなしが聞けます。

1月19日～2月3日 第10話 狐に育てられた娘
1月4日～2月18日 第11話 白鶴の精



第295話

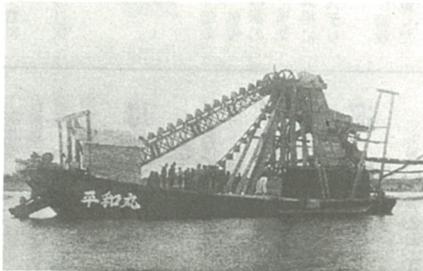
洪水余話 その2

大水の恵み

相模川の大水は農作物に被害を与えたりばかりでなく、沿岸住民の生命財産をも脅かした。この反面、素晴らしい恵みをもたらしている。俗に「海老名三千石」と呼ばれた大々倉倉庫地帯を沿岸に形成したのは、有史以前から繰り返されたものである。川の洪水のたまものである。弥生時代からの金田沃野を母体としての米作、その恩恵は計り知れないものがある。このことは今更に取り上げる必要もないので、以下は今日的な利得に触れていきたい。

洪水で資源は減った。まだ道路舗装が施されていなかった大正末期から戦前にかけて、国分には「砂利敷き」という役があつて、一戸当たり石油箱二杯分の砂利を、河原口の河原から荷車で運んできて道路に敷いた。昭和四十三年、私が区長だったころは、場所と必要な砂利の量を町に申し出ると、町費で運んでくれるようになった。ぬかるみ道は、このように砂利に頼っていたのだ。

相模川水系の砂利採取事業は、明治十九年、東海道線が横浜から国府津まで延長されたことが決まると、これに着目した業者が、馬入地区で砂利採取に取りかかったのが始まりという。大正十五年、相模鉄道(現JR相模線)が寒川から河原口まで延長された。砂利採取業者は、この延長された河原口現相模線、小田急線が敷設、それぞれ京浜の需要地へ貨物輸送を始める。市域の砂利採取も活発



昭和25年ごろの砂利採取船。写真は相模興業(株)提供

皮肉ってほくそ笑んだという。中新田では、昭和二十四年に共有地の砂利三十六万三千立方を業者が売った。中野にも権利者五十戸の共有地があつた。相模鉄道に採取権を売った。その権利金は消防小屋など地区の施設費に充てた。昭和四年刊のある地図には、社家駅から南西方向に砂利専用の引込線が描かれており、その事実を裏付けている。

昭和三十三年、四年、横浜新道建設工事に砂利六千六百立方、横浜シルクセンター新築工事に砂一万立方と、ともに上郷産のものが使われた。この事をみても、我が海老名産の砂利、砂がいかに近代建築などの骨材として世に大きく貢献したかがわかる。しかし、この需要は洪水による補給では追いつかず、そのため川床は低下し橋脚の基礎は露出するようになった。そこで昭和二十九年四月、相模川の砂利採取を全面禁止にした。これによって一時百数十社に及んだすべての業者が撤退し、全国的に名声を失った相模川の砂利は姿を消したのである。

流木もまた、洪水の恵みの一つである。上流津久井の材木業者は運送費節減のため、洪水という木材に刻印を打って放流した。太いものは径一メートル以上、後日引き上げにきた業者は、若干の礼金を置いていった。下今泉のある老人は当時の様子をお話している。「上河原の土手切れたとき、今の国道二四六号線の南側の堤防が入り込んでいる所へ、おりからの西風によって木材がおよそ百本吹き寄せられた。径二尺(約60cm)、長さ二間(約3.6m)ぐらいいり、その上をあらわら飛び移る冒険遊びをした」

流木は、山林のない沿岸の家々にとっては貴重な燃料であった。社家では川木拾いと云い、水が引くと各家庭の主婦や子供は大龍を背負い流木拾いに精を出した。河原口では河原畑の桑は高利口仕立てにしておいた。余得として流木が引つかかるのを期待したのだ。その流木が隣の畑にまたがった場合、折半して分けたという律儀な人もいた。

流木の多い場合、上郷では共有地権者総出で川木拾いをして、刻印のない太い木は馬船橋の橋材用に保存しておき、他は引きよきによって八十六戸全部に分配した。ある人は先見の明をもって大水のたびに舟を出し、流れてくる沈床杭(注)を引き上げては蓄えておき、後年弟を新宅にする際それを製材し、一戸分の柱の約半分を断つたという。これなどは、まさに洪水様さまであったであろう。(注)沈床杭:浸食を防ぐため川岸に打ち込んだ護岸用の太い杭

(池田 武治)